

●つくばみらい市地域公共交通網形成計画（案）一部抜粋資料

目標を達成するための実施施策

基本理念

市民が生活しやすいまちを目指し、
利便性の高い持続可能な公共交通体系の構築

市内外の目的地に市民誰もが円滑に移動できるよう、鉄道、バス路線、コミュニティバス、デマンド乗合タクシー、タクシーなど既存の様々な交通手段も含めた、新しい公共交通体系を構築し、市民生活の利便性の向上を図る。



基本方針・計画目標

基本方針1：まちの一体性・地域活性化に資する地域公共交通

4つの市街地構成とそれらを結ぶ軸となる公共交通ネットワークを強化し、まちの一体性および地域の活性化を図る。

➡計画目標1：生活拠点となる商業施設等との連携による利用促進と市内の拠点を結ぶネットワークの形成

（仮称）第2次つくばみらい市総合計画で位置付けられているみらい平駅周辺地区の都市交流拠点、小絹駅周辺地区の地域交流拠点、谷井田地区・伊奈東地区の地域生活拠点等の連携を高めるため、路線バスを補完するためのコミュニティバスの再編を行う。また、市内商業施設などと連携を図り、公共交通の利用を促進し、地域の活性化に寄与する。

基本方針2：市域内外の連携を支える地域公共交通

広域的な移動を支える鉄道や路線バスと市域内生活交通との連携強化によるアクセス向上と、市外主要拠点等への移動手段の確保を図る。

➡計画目標2：日常生活を支える地域公共交通網の構築

市外への通勤・通学や通院などの日常生活を支えるために、広域移動の機能を担う鉄道の利便性向上と周辺市を連絡する路線バスの維持・拡充を図り、市内外の連携を強化する。
また、市外の駅や総合病院などへの移動手段を確保するための方策を検討する。

基本方針3：利便性の高い、安全・安心な地域公共交通

市民ニーズに沿った利便性の高い地域公共交通を形成し、地域間の交流促進や多様な市民が利用することができる安全・安心な交通サービスの提供を目指す。

➡計画目標3：利用しやすい公共交通サービスの提供

路線バス・コミュニティバス及びデマンド乗合タクシーがより利用しやすい環境となるように、各種サービスの改善・導入や情報提供の充実など市民が安心して利用できる公共交通サービスを提供する。

基本方針4：市民との協働による持続可能な取り組み

行政の財政負担に制約がある中で、持続可能な交通体系を実現するため、交通事業者の自助努力や行政の支援だけでなく市民自らが公共交通を「支え、守り、育てる」意識を醸成し、公共交通の利用促進を目指す。

➡計画目標4：公共交通への関心を高めるための取り組みの展開

公共交通の取り組み施策等の情報提供や各種イベントの開催など、市民の公共交通への関心を高め、より公共交通の利用機会を促すよう、様々な利用促進策を展開する。

公共交通を取り巻く課題

●子育て世代や高齢者等交通弱者の移動ニーズへの対応

●周辺市等への移動ニーズへの対応

●公共交通に関する情報提供の充実

●公共交通維持に向けた市民の意識醸成

実施施策

【施策1】コミュニティバスの再編

【施策2】コミュニティバスの車両更新に伴うバリアフリー化

【施策3】路線沿線の商業施設等との連携

【施策4】デマンド乗合タクシーのサービス充実

【施策5】一般タクシーの有効活用

【施策6】市外総合病院への移動ニーズに対応した新たな交通手段の導入検討

【施策7】周辺自治体と連携した広域バス導入の検討

【施策8】路線バスの維持・拡充

【施策9】路線バスのバリアフリー化の促進

【施策10】つくばエクスプレスの利便性向上に向けた継続的な要望活動

【施策11】公共交通の総合的情報等の提供

【施策12】交通結節点となる鉄道駅や主要なバス停における利用しやすい環境改善

【施策13】バスロケーションシステム導入の検討

【施策14】コミュニティバスへの交通系ICカード導入の検討

【施策15】各種利用促進策の実施

【施策16】公共交通に対する理解を深めるための取り組みの実施

